＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	Save Energy & Long Life アース21の家
グループの名称	地域に根ざした北海道の工務店ネットワーク アース21
直近採択グループ番号	04-0397-0019

（グループ代表者）

代表者名	菊澤　里志　代表者印
代表者所属先	株式会社キクザワ
代表者所在地	北海道恵庭市黄金中央2-3-15
代表者電話番号	011-2332-2440

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社キクザワ
事務局担当者名	菊澤　里志　印
事務局郵便番号	061-1449
事務局所在地	北海道恵庭市黄金中央2-3-15
事務局電話番号	0123-32-2440
事務局FAX	0123-39-2193
事務局担当者E-mail	home6@kikuzawa.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	Save Energy & Long Life アース21の家
２．グループの名称(必須)	地域に根ざした北海道の工務店ネットワーク アース21
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0397-0019
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	北海道
５．結成年(必須)	1994　年
６．グループ代表者名(必須)	菊澤　里志
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社キクザワ
８．グループ代表者所在地(必須)	北海道恵庭市黄金中央2-3-15
９．グループ代表者電話番号(必須)	011-2332-2440
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社キクザワ
１１．グループ事務局担当者名(必須)	菊澤　里志
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	061-1449
１３．グループ事務局所在地(必須)	北海道恵庭市黄金中央2-3-15
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0123-32-2440
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0123-39-2193
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	home6@kikuzawa.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	5	原木供給事業者が海外の事業者の場合、製材・集成材製造・合板製造の出荷者による証明によって代替する。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	8	製材・集成材製造・合板製造事業者が海外の事業者の場合、建材流通の出荷者による証明によって代替する。
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	8	製材事業者等から直接仕入れを行う場合など、一部建材流通事業者を介さない場合がある。
Ⅳ．プレカット	8	一部の施工事業者はすべて手刻みによる加工のため、製材・集成材・合板事業者から直接購入する場合がある。
Ⅴ．設計	5	施工事業者の多くにおいては、自社設計を行う場合がある。
Ⅵ．施工	23	
Ⅶ．木材を扱わない流通	2	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	北海道産材	北海道	北海道における新たな合法木材証明制度	1	国内

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		28	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	28	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
		申請が未確定（上限100万円）		45	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	45	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	2	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		3	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	3	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限165万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟
			0	㎡
		申請が未確定	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	申請する事業の種類ごとに、施工事業者に対して各1戸を配分し、残りの戸数を過去の実績を参考として事業実施が確実な施工事業者を優先して抽選により配分する。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	26	戸	交付申請戸数	25	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	9	戸
補正予算	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木供給事業者が海外の事業者の場合、製材・集成材製造・合板製造の出荷者による証明によって代替する。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
1	Ⅰ－ 3	大浦木材株式会社		059-0907	北海道白老郡白老町末広町1丁目5-27	0144-82-2127
1	Ⅰ－ 4	丸十木材株式会社		089-1182	北海道帯広市川西町西3線73-2	0155-59-2101
1	Ⅰ－ 7	株式会社ノムラ		070-8003	北海道旭川市神楽3条2丁目2-9	0166-61-3611
1	Ⅰ－ 8	相田木材株式会社		076-0004	北海道富良野市字布部	0167-23-3168
1	Ⅰ－ 9	下川町森林組合		098-1204	北海道上川郡下川町南町133	0165-54-3544
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
製材・集成材製造・合板製造事業者が海外の事業者の場合、建材流通の出荷者による証明によって代替する。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
1	Ⅱ － 3	大浦木材株式会社		059-0907	北海道白老郡白老町末広町1丁目5-27	0144-82-2127
1	Ⅱ － 4	丸十木材株式会社		089-1182	北海道帯広市川西町西3線73-2	0155-59-2101
1	Ⅱ － 8	相田木材株式会社		076-0004	北海道富良野市字布部	0167-23-3168
1	Ⅱ － 10	オムニス林産協同組合		089-0563	北海道中川郡幕別町千住42-6	0155-56-1000
1	Ⅱ － 12	東邦木材工業株式会社		095-0401	北海道士別市朝日町中央4021	0165-28-2316
1	Ⅱ － 13	下川フォレストファミリー		098-1204	北海道上川郡下川町南町141	0165-54-3544
1	Ⅱ － 14	株式会社関木材工業		081-0038	北海道上川郡新得町新得基線67番地	0156-64-5653
1	Ⅱ － 15	株式会社関木材工業　国産ツーバイフォー工場		081-0154	北海道上川郡新得町屈足西1線1番地9	0156-65-2244
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
製材事業者等から直接仕入れを行う場合など、一部建材流通事業者を介さない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
1	Ⅲ － 4	丸十木材株式会社		089-1182	北海道帯広市川西町西3線73-2	0155-59-2101
1	Ⅲ － 7	株式会社ノムラ		070-8003	北海道旭川市神楽3条2丁目2-9	0166-61-3611
1	Ⅲ － 8	相田木材株式会社		076-0004	北海道富良野市字布部	0167-23-3168
1	Ⅲ － 12	東邦木材工業株式会社		095-0401	北海道士別市朝日町中央4021	0165-28-2316
1	Ⅲ － 16	早川建築資材株式会社		068-0025	北海道岩見沢市五条西10丁目1	0126-22-4055
1	Ⅲ － 17	有限会社瀬上製材所		089-0533	北海道中川郡幕別町札内新北町76-4	0155-56-7000
1	Ⅲ － 18	昭和木材株式会社		078-8212	北海道旭川市2条通23丁目右1	0166-31-4781
1	Ⅲ － 19	佐藤木材工業株式会社		049-0101	北海道北斗市追分3丁目1-5	0138-49-7800
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
一部の施工事業者はすべて手刻みによる加工のため、製材・集成材・合板事業者から直接購入する場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
1	Ⅳ － 4	丸十木材株式会社		089-1182	北海道帯広市川西町西3線73-2	0155-59-2101
1	Ⅳ － 7	株式会社ノムラ		070-8003	北海道旭川市神楽3条2丁目2-9	0166-61-3611
1	Ⅳ － 8	相田木材株式会社		076-0004	北海道富良野市字布部	0167-23-3168
1	Ⅳ － 12	東邦木材工業株式会社		095-0401	北海道士別市朝日町中央4021	0165-28-2316
1	Ⅳ － 20	佐藤木材工業株式会社 北海道苫小牧支店		059-1374	北海道苫小牧市晴海町26-7	0144-53-8800
1	Ⅳ － 21	北海道プレカットセンター株式会社		059-1374	北海道苫小牧市晴海町41	0144-55-9260
1	Ⅳ － 22	昭和木材株式会社 札幌支店		061-3244	北海道石狩市新港南1丁目19-24	0133-64-3188
1	Ⅳ － 23	株式会社エーステック野幌工場		069-0805	北海道江別市元野幌1146番地4	011-383-7722
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
施工事業者の多くにおいては、自社設計を行う場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
1	Ⅴ － 24	ウッズ建築設計事務所		080-0841	北海道帯広市緑ケ丘一条通5丁目8-1	0155-23-3120	○	
1	Ⅴ － 25	松倉建築設計株式会社		003-0021	北海道札幌市白石区栄通18丁目6-20相馬ビル405号室	011-598-9560	○	
1	Ⅴ － 26	鈴木建築設計		061-3776	北海道石狩郡当別町太美町1473-104	0132-27-5011	○	
1	Ⅴ － 27	株式会社石塚建築設計事務所		061-1444	北海道恵庭市京町77-1	0123-33-3856	○	
1	Ⅴ － 29	Place plus 設計事務所		070-0042	北海道旭川市中常盤町2丁目1970-5 ドリームハイツA号室	0166-74-8341	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							23	○	○
1	Ⅵ － 1	40045	株式会社 キクザワ		061-1449	北海道恵庭市黄金中央2丁目3番15	0123-32-2440	○	
1	Ⅵ － 30	40051	有限会社住まいの相談室はしもと		061-1105	北海道北広島市西の里東2丁目3－6	011-374-3411	○	
1	Ⅵ － 31	40029	株式会社 アシスト企画		001-0925	北海道札幌市北区新川5条16丁目6番5号	011-764-5150	○	
1	Ⅵ － 32	40166	株式会社 青木建設		084-0912	北海道釧路市星が浦大通3－8－32	0154-51-0553	○	
1	Ⅵ － 33	40006	株式会社 芦野組		078-8308	北海道旭川市旭神町28番地の106	0166-65-7087	○	
1	Ⅵ － 34	40230	有限会社 猪子建設		080-0314	北海道河東郡音更町共栄台西12丁目7番地	0155-31-3183	○	
1	Ⅵ － 35	40030	株式会社 岡本建設		089-0614	北海道中川郡幕別町緑町40番地32	0155-54-2733	○	
1	Ⅵ － 36	40184	株式会社 川田建設工業		050-0081	北海道室蘭市日の出町2丁目2番6号	0143-47-9522	○	
1	Ⅵ － 38	40143	有限会社 新濱建設		071-0173	北海道旭川市西神楽北1条4丁目234番地の42	0166-75-3134	○	
1	Ⅵ － 40	40209	株式会社瀧本ホーム		003-0029	北海道札幌市白石区平和通8丁目北5番24号	011-846-2110	○	
1	Ⅵ － 41	40052	株式会社 橋本建設		061-3201	北海道石狩市花川南1条1丁目76番地	0133-76-2006	○	
1	Ⅵ － 42	40152	有限会社 水野建設		080-0141	北海道河東郡音更町宝来北1条4丁目2番地	0155-31-1003	○	
1	Ⅵ － 43	40049	丸作吉田建産株式会社		063-0005	北海道札幌市西区山の手5条5丁目1－38	011-641-3136	○	
1	Ⅵ － 44	40009	株式会社伊藤工務店		069-1133	北海道夕張郡由仁町三川旭町104	0123-86-2924	○	
1	Ⅵ － 45	40192	有限会社 北清建設		061-1409	北海道恵庭市黄金南3丁目1番地の17	0123-33-2032	○	
1	Ⅵ － 46	40082	有限会社高杉工務店		061-1277	北海道北広島市大曲光1丁目6－5	011-377-6561	○	
1	Ⅵ － 47	40053	株式会社大洋建設		007-0843	北海道札幌市東区北43条東19丁目2－2	011-780-1005	○	
1	Ⅵ － 48	40120	株式会社柴田建築工房		061-1355	北海道恵庭市島松寿町1丁目12－2	0123-36-8049	○	
1	Ⅵ － 50	40224	郷土建設株式会社		061-1431	北海道恵庭市恵庭市有明町2丁目6－9	0123-32-2828	○	
1	Ⅵ － 52	40256	株式会社藤井光雄工務店		071-1514	北海道上川郡東神楽町北2条東2丁目9－1	0166-83-5517	○	
1	Ⅵ － 53	40146	株式会社 北海道ハウジング		070-8002	北海道旭川市神楽2条11丁目2番16号	0166-62-5133	○	
1	Ⅵ － 55		石塚建設株式会社		087-0023	北海道根室市桂木63-24	0153-23-4653	○	
1	Ⅵ － 56	40308	有限会社 広岡建設		080-0015	北海道帯広市西5条南24丁目17番地	0155-24-7373	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
1	Ⅵ － 1	40045	株式会社 キクザワ	20 戸	21 戸	20 戸	19 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
1	Ⅵ － 30	40051	有限会社住まいの相談室はしもと	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
1	Ⅵ － 31	40029	株式会社 アシスト企画	40 戸	38 戸	13 戸	9 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	○
1	Ⅵ － 32	40166	株式会社 青木建設	5 戸	5 戸	5 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
1	Ⅵ － 33	40006	株式会社 芦野組	15 戸	15 戸	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
1	Ⅵ － 34	40230	有限会社 猪子建設	3 戸	4 戸	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
1	Ⅵ － 35	40030	株式会社 岡本建設	16 戸	16 戸	7 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	○			○	○
1	Ⅵ － 36	40184	株式会社 川田建設工業	11 戸	10 戸	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				○
1	Ⅵ － 38	40143	有限会社 新濱建設	6 戸	7 戸	6 戸	6 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
1	Ⅵ － 40	40209	株式会社瀧本ホーム	3 戸	2 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
1	Ⅵ － 41	40052	株式会社 橋本建設	7 戸	7 戸	1 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
1	Ⅵ － 42	40152	有限会社 水野建設	3 戸	3 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
1	Ⅵ － 43	40049	丸作吉田建産株式会社	4 戸	4 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
1	Ⅵ － 44	40009	株式会社伊藤工務店	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
1	Ⅵ － 45	40192	有限会社 北清建設	10 戸	9 戸	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
1	Ⅵ － 46	40082	有限会社髙杉工務店	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡				○	
1	Ⅵ － 47	40053	株式会社大洋建設	43 戸	44 戸	2 戸	4 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○			○	
1	Ⅵ － 48	40120	株式会社柴田建築工房	1 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
1	Ⅵ － 50	40224	郷土建設株式会社	19 戸	19 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
1	Ⅵ － 52	40256	株式会社藤井光雄工務店	6 戸	6 戸	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
1	Ⅵ － 53	40146	株式会社 北海道ハウジング	11 戸	10 戸	6 戸	7 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
1	Ⅵ － 55		石塚建設株式会社	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
1	Ⅵ － 56	40308	有限会社 広岡建設	8 戸	7 戸	7 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
1	Ⅶ － 58	相互建材工業株式会社		061-1405	北海道恵庭市戸磯347-7	0123-33-4171
1	Ⅶ － 59	株式会社ノーザンプランニング		061-1277	北海道北広島市大曲光1丁目1-9	011-377-7914
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） Save Energy & Long Life アース21の家	（地域型住宅供給対象地域） 北海道
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 地域に根ざした北海道の工務店ネットワーク アース21	（結成年） 1994　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0397-0019	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】	
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○将来のZEHへの発展を見据え、より高気密・高断熱な北海道仕様の家づくり(外皮平均熱貫流率UA値0.38W/m² K以下、相当隙間面積C値0.5cm²/m²以下)に取り組む。 ○BELS認証を全棟取得し、省エネルギー性能の可視化に努める。 ○北海道が運用する新たな住宅履歴システム「きた住まいるサポートシステム」を効果的に活用する。
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	耐震性について十分に配慮し、状況に応じて枠組壁工法の採用も積極的に行う。また、北海道の気候・風土に合わせてグループ独自に定めた3項目（1. 落雪への配慮、2. 日射取得、3. 道産材の使用）からなるデザインコードの規格・仕様に基づき、北海道らしい寒冷地向けの木造住宅デザインを積極的に採用する。
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	グループ独自のデザインコードの規格・仕様に基づいた北海道らしい木造住宅デザインルールを取り入れるよう努める。
④ ①～③の背景	北海道は寒冷多雪地域であり地震多発地帯であるうえ、近年の異常気象によって局地的な大雨や豪雪に見舞われることも増えた。面積が広大で道央・道南・道北・道東の主要圏域毎に、気候・風土、文化及び街並み等に大きな違いが見られるが、極寒の気象条件の下、歴史的に防寒住宅-寒地住宅-北方型住宅を通じて、高い断熱施工水準に到達している。北海道内の主な森林資源であるトドマツ・カラマツの集成材や合板等も製造されているが、施工性や維持管理面、コスト面で課題を抱え、また、生産・供給体制も十分ではなく、地場産材に比べ割安な北米の2×4用製材を用いた枠組壁工法の住宅が戸建住宅着工戸数の約20%以上を占める。エネルギー基本計画において2020年までに標準的な新築住宅でZEHを目指すことが定められ、さらなる省エネルギー性能の向上が求められている。
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】				
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 施工構成員を中心に組織した技術委員会において進行中の「アース21モデルプラン」プロジェクトを継続し、標準仕様の確立に向けた検討を行う。
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: グループ内メーリングリストと定例の例会（年5回開催）において建材についての情報交換を随時行い、建材の統一・共同購入の可能性を検討する。
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: ZEHへと発展させるために満たすべき省エネルギー性能等も含め、技術委員会が主導して標準仕様の確立に向けた検討会を行う。
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 地域材、および建材の仕入れ価格についてグループ内メーリングリスト、および定例の例会において情報交換を随時行い、共同仕入れ等の合理化へ向けた検討を行う。
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容:
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 定例の例会おける現場見学会、および検討会において、合理化への検討を行う。
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容: 合理化に係る検討会の内容の整理を行い、グループ内メーリングリストの運用と定例の例会への報告によりグループ構成員間での情報共有を促す。
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容: 全棟でBELS認証を取得するとともに、住まい手にも分かりやすい性能基準として年間暖房負荷をもとにグループ独自に定めた「アース21推奨性能基準」を、建築主の省エネ性能への理解を広めるために活用する。
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容: 気密測定を全棟で行い、C値が0.5cm²/m²以下であることを相当隙間面積測定報告書の提出により報告する。
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容: 現場管理費及び一般管理費に係る積算ルール（標準割合）を遵守し、グループで標準化した工事費積算内訳書（見積書）を提出する。
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容: グループで毎年発行している住まいづくり情報誌「北海道の家づくりの現場から」を通して会員とグループの活動を紹介する。
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

－1＞

い。

◎、○
記入欄

◎

◎

◎

◎

◎、○
記入欄

◎

◎

◎

◎

◎

○

◎

◎

◎

◎

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）Save Energy & Long Life アース21の家	（地域型住宅供給対象地域）北海道
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）地域に根ざした北海道の工務店ネットワーク アース21	（結成年）1994　年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0397-0019	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①	住宅履歴情報の蓄積	北海道が運用する新たな住宅履歴システム「きた住まいるサポートシステム」に住宅履歴情報を保管し、点検補修に活用する。		◎
	①-1	内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：「きた住まいるサポートシステム」に住宅履歴情報を保管する。	◎
	①-2	情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある → 内容：「きた住まいるサポートシステム」を活用する。	◎
	①-3	履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：「きた住まいるサポートシステム」により発行される住宅履歴情報保管書の提出により確認を行う。	
	②	メンテナンス基準の整備			
	②-1	点検の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：「きた住まいるサポートシステム」の点検修繕履歴、および点検時期メール配信を活用し、設備業者等と連携した定期点検（1・3・5年後）を実施する。	◎
	②-2	補修の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：維持保全計画書に従い必要に応じて補修を行い、「きた住まいるサポートシステム」の点検修繕履歴に記録する。	◎
	②-3	点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：「きた住まいるサポートシステム」の点検・修繕履歴シートによって確認する。	◎
	③	住まいの管理			
	③-1	住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：家計にも優しい省エネ・省CO2な「住まい方」についての市民セミナー開催を企画、実施の検討を行う。	◎
	③-2	DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある → 内容：	
	③-3	その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：「NPO法人 住んでみたい北海道推進会議」に加盟し、移住相談会等において北海道への移住希望者に向けて地域型住宅を積極的にアピールする。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	■ ない	□ ある → 内容：	
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある → 内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある → 内容：施工事業者の倒産・廃業等に対応して、建築主へメンテナンス等に関する情報提供を行う「アース21の家相談窓口」のグループ事務局内への設置を検討する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：定例の例会において、適宜、クレーム対応事例の報告を行い検討会を開催する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

エ．グループの技術力の向上

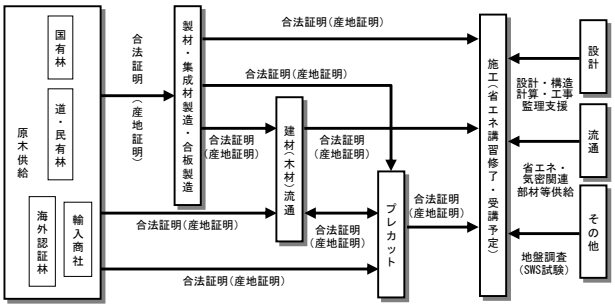
【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある → 内容：定例の例会を活用したレベルアップ構造現場研修会と構造設計及び省エネに係る最新の技術情報研修会を実施する。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	■ ない	□ ある → 内容：	
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある → 内容：定例の例会で行う構造・完成現場見学において、事業者相互に公開・チェックを行い、施工水準の維持・向上を目指す。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある → 内容：定例の例会とグループ内メーリングリストを通じて随時情報交換を行う。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	■ ない	□ ある → 内容：	
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある → 内容：グループ内において積極的な情報提供を行うよう努める。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 53	今年度の参加目標人数 30	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 12	今年度の参加目標人数 30	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある → 内容：設計、施工及び工事監理の複数工程においてより多くの省エネルギー技術講習会修了者が対象住宅の供給に関わることを目指し、講習会への参加を職人等に対しても働きかけを行う。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある → 内容：ZEH化に関わる技術的な知識や経験をグループ内で共有し、それぞれが実践する体制を整備するため、技術委員会を中心に定例の例会において各種の技術研修会を行う。	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある → 内容：定例の例会（年5回開催）において、薪ストーブ、ペレットストーブの効率的利用に係る勉強会や太陽光・太陽熱以外の自然エネルギー（雨水、バイオマス等）の活用に係る技術研修会を実施する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） Save Energy & Long Life アース21の家	（地域型住宅供給対象地域） 北海道	
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称） 地域に根ざした北海道の工務店ネットワーク アース21	（結成年） 1994 年	
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0397-0019		

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	合法木材（国内・国外）を主要構造材（柱、梁、桁、土台）の50%以上に使用する。 北海道の新たな合法木材証明制度により産地証明された北海道産材（カラマツ・トドマツ・エゾマツ、道南杉等）を2次部材（大引、羽柄材、下地材、合板、内装材、外装材のいずれか1つ）の50%以上に使用する。 地域材取扱事業者認定書、合法木材の証明書または北海道の新たな合法木材証明制度で産地証明された合法木材の証明書、及び出荷証明・納品書を添付する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	合法木材については、原木供給及び製材・集成材製造・合板製造事業者が海外の場合、必要とされる本社の念書の入手が不可能であるため、構成員としての登録を行っていない。このため、製材・集成材製造・合板製造事業者、または建材流通事業者による合法性の証明によって代替する。 製材事業者等から直接仕入れを行う場合など、地域型住宅の特性に応じ、一部建材流通事業者を介さずに、地域材の調達を行う場合がある（プレカット事業者からの流通となる場合がある）。 施工事業者において、自社工場や手刻みにより木材加工を行うためプレカット事業者を通らない場合がある。  	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：グループ内メーリングリストを活用して木材等の供給事業者から合法木材等の納材状況に関する情報提供を随時行う。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：定例の例会において、地域材の共同購入も視野に入れ、木材等の供給事業者と設計・施工事業者が情報・意見交換を行う。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：グループ内メーリングリストを活用して木材等の供給事業者から合法木材等の納材状況に関する情報提供を随時行う。	◎
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：積雪寒冷な自然環境に対応するために海外の高性能な技術を取り入れながら発展した北海道独自の家づくりのデザインを「アース21の家・デザインコード」として採用する。	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：積雪寒冷な自然環境に対応するために海外の高性能な技術を取り入れながら発展した北海道独自の家づくりのデザインを「アース21の家・デザインコード」として採用する。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：北海道において独自に発展した家づくりのデザインに溶け込んだ和の住まいの要素を再確認し、地域の特性に合わせた取り入れ方を検討する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		製材・プレカット工場、札幌軟石採掘場等の視察研修を実施する。	◎

カ. その他

【平成29年度対応方針】	◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） Save Energy & Long Life アース21の家	（地域型住宅供給対象地域） 北海道
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 地域に根ざした北海道の工務店ネットワーク アース21	（結成年） 1994 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0397-0019	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

共通の基本的な性能・特徴
・断熱性:外皮平均熱貫流率UA値0.38W/m²K以下
・気密性:相当隙間面積C値0.5cm²/m²以下（全棟で気密測定を実施）
・デザイン：北海道の気候・風土に合わせてグループ独自に定めた3項目（1.落雪への配慮、2.日射取得、3.道産材の使用）からなるデザインコードの規格・仕様を積極的に採用する。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。